



三鷹中央通信



日本医療機能評価機構

三鷹中央病院は、平成19年2月に日本医療機能評価機構 Ver5の認定を受けました。

三鷹中央リハケアセンター『運営理念』

「在宅生活への復帰」と「自立支援」を目指したリハビリを行います。
障害をお持ちの方の人間としての尊厳を守るお世話をいたします。
明るく家庭的な雰囲気、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行います。

三鷹中央病院『医療理念』

当院は 地域医療の第一線を担う病院であることに誇りをもち いつでも どなたでも診療いたします。
常に親切・安心・質の高い医療の提供を心がけ、事故のない病院をめざします。

2009年 Vol.09



副院長職を拝命して

医療法人社団 永寿会 三鷹中央病院
副院長兼看護部長 山蔭和子



私が当院に入職して11年になりました。当然ながら不慣れな部分がたくさんありましたが、学ぶところもまたたくさんありました。そのなかの大きなひとつに、新入職員歓迎会で理事長が話された、「良い医療を提供するには施設として経営が成り立たっていかねばならない」ということがあります。

良い医療を実践して継続していくためには適正な利益を確保すること。

それを職員に還元することで、さらにレベルをあげるができるということ。

また、良い医療を実践し、結果として適正な利益をあげるためにも、患者さんと直接接する人たちの働きが最も重要であること。

そして、私はその人たちの業務が円滑にいくようお手伝いをしていかなければならないこと。

これらのことは、私が管理業務に就くようになり心底から思い知らされ学んだことであります。

今回、本来看護職である私が看護を超えた領域を含む管理業務に就くことに大きな抵抗がありました。

しかし考えて見ますと、最近の医療は、介護、在宅医療、さらには在院日数制限など、多くの変化を抱えています。しかもこれらの課題は病院経営にとって大きな位置を占めていて、それらを一元的に見渡し対応していく必要があります。そもそも病気の診断や治療という厳しい業務に専念すべき医師の手を、これらの業務で余分に煩わせることは組織として得策とは思えません。こうした判断のもと、これらの業務を進めるために、新たに看護部長兼務の副院長職が設けられたものと理解しています。

医療には今多くの変化が求められています。進化論では弱い生物が減びるのではなく、変化できない生物が減びるといいます。病院、施設、そして私達ひとりひとりが変化することを恐れずに共に進んでいきましょう。

最後に患者さん、ご家族、地域の皆様にお願ひ申し上げます。当院では看護師不足の中にもかかわらず7対1という高い看護配置基準を取得し、看護の質の確保に努めています。地域に求められる病院として今後も質の高い看護体制、医療体制の維持を目指します。

しかしながら医療は医療者だけでは行うことが出来ません。患者さんやご家族のご協力ご理解があつてはじめて成立します。地域の皆様に安心して喜んで利用していただけることを願ひ、これからも私たちは頑張ります。

どうぞよろしくご理解ご支援のほどお願い申し上げます。



新入職員歓迎会

平成21年5月9日(土)に、医療法人永寿会と社会福祉法人正寛会合同の新入職員歓迎会を執り行いました。当グループの総従業員数は約330名ですが、当日の参加者は155名を数え、とても盛況な会になりました。

理事長挨拶の中で、子曰く、「君子はこれを己に求め、小人はこれを人に求む」(常識、教養の備わった者は責任を負う事を厭わないが、そうではない者は責任を他者に転嫁する)という人生訓を紹介し、ひとりひとりが自らの責任で就労することにより、良いチームワークで「良い病院」「良い老健」「良い特養」にすることが出来る。また、職員の表情の



元気な医事課スタッフ

病棟の若手看護師さん



大切さについて「満面の笑みで」患者さん、利用者さんと接して頂きたい。という身の引き締まるお話しでした。続いて、山蔭副院長の乾杯。歓談のひとつときには各施設の親睦を深め、恒例のビンゴ大会や院長賞の発表などなど若い世代を中心に盛り上がり、交流を深めました。

日頃、診療・看護・介護を通じて患者さん(利用者さん)と接している各部署のスタッフが、一堂に会して集まる機会は、この新入職員歓迎会と忘年会の2回ありますが、どちらが賑やかかといえれば新人さん方の元気がよいこの会でしょう。

このような親睦の機会も大切に、気持ちを一つにして良い医療・介護を提供出来る運営を目指して参りたいと思います。

運動会

運動会実行委員長
2F 伊藤正浩

平成21年3月29日(日)に4度目となる運動会を1Fの機能訓練室で開催しました。

会場の壁や柱には、日々職員・利用者様で作った紅白・黄・青・緑・ピンクの色とりどりの花びらを飾りました。また「運動会」の大きな看板や万国旗を飾り運動会の雰囲気作りが出来ました。種目名を大きな模造紙に職員が筆入れしたものをご覧になった利用者様から「たいしたものだ。書道の先生がいるの?」など嬉しいお言葉も頂きました。

職員はデザイン一着ぐるみなどで全員仮装し、女性の職員に対しては「かわいい、かわいい」と利用者様からの評判もよかったです。男性の職員には「気持ち悪い」など冗談も飛び交っていました。

運動会の内容は開会式・玉送り、

玉入れ・綱引き・パン食い競争・閉会式の順番で行われました。ハチマキをしめ、それぞれに張り切っている利用者様はとても若々しく見え、まるで少年・少女に戻ったかのようでした。競技中の利用者様はマイペースに競技に参加する方もいれば負けず嫌いで目の色を変えて取り組む方もいて、普段は見せない性格を拝見できたり驚いたり、と職員も存分に楽しませてもらいました。

とても好評だったのが職員による綱引きでした。職員も施設の行事というのを忘れ、顔を赤くさせ綱を引っ張りました。「あれが最高だった」と利用者様からの声がたくさんありました。職員も利用者様も一緒に楽しめたことが今回の運動会での大きな収穫だったと思います。

これまでの収穫・反省を今後にかし、皆様が楽しめるよう取り組んでいきたいと思えます。



◎三鷹中央病院

住所:〒181-0012 東京都三鷹市上連雀5-23-10
Tel:0422-44-6161(代) Fax:0422-48-9009

☆患者様の訴えを素直に受けとめて、
診療内容をわかりやすく説明し、最善の医療を提供します。

診療科:内科・循環器科・内分泌科・呼吸器科・外科・消化器科・肛門科
整形外科・皮膚科・脳神経外科・眼科・泌尿器科・リハビリテーション科
人間ドック(1日・1泊)・健康診断・各種検診・産業医委託

診療時間:月~土曜日 /am9:00~12:00 pm2:00~5:30
日曜・祝日 /am9:00~12:00(救急外来は24時間受付)

病床数:122床(一般病床)

その他:三鷹ふれあい訪問看護ステーション Tel:0422-48-6031
ふれあい診療所 Tel:0422-79-1313



◎三鷹中央リハケアセンター

住所:〒181-0013 東京都三鷹市下連雀9-2-7
Tel:0422-70-0700(代) Fax:0422-70-0701

☆心のもった介護、看護、リハビリテーションを提供し
「在宅生活への復帰」と「自立支援」を目指します。

- ベッド数:100床(一般療養100床)
4床室/19室 2床室/1室 個室/22室
- 機能訓練室:207.00㎡・機械浴室・男女別自立浴室
- 通所リハビリ:60人 通所食堂(219.00㎡)
- 訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所



◎ケアコート武蔵野

住所:〒180-0023 東京都武蔵野市境南町5-10-7
Tel:0422-39-0390(代) Fax:0422-39-0392

☆利用者の皆様にとっても、そして職員にとっても、
楽しく生きがいの持てる施設づくりを目指しています。

病床数:80床(一般病床)

事業内容:特別養護老人ホーム 72床(8ユニット)
短期入所生活介護 8床(1ユニット)

特徴:○全室個室のユニットケアを実施します。
○「安心」「安全」「快適」な空間と人を大切にしたいサービスの提供に努めます。



ACCESS

三鷹中央病院

- JR中央線三鷹駅下車(南口)
- 南口よりバス、タクシー(1区間)
 - ④「新小金井駅」行
- 小田急バス
 - ④「武蔵境営業所」行
 - ⑤「調布駅北口」行
- 『曙住宅・三鷹中央病院前』下車徒歩1分

三鷹中央リハケアセンター

- JR中央線三鷹駅 南口下車
- 小田急バス
 - ⑧「野ヶ谷」行
- 『三鷹農協前』下車徒歩1分

ケアコート武蔵野

- JR中央線武蔵境駅南口下車徒歩15分
- 小田急バス
 - ③番乗り場「狛江営業所」行
 - 「狛江駅北口」行
 - ④番乗り場「吉祥寺」行
- バス停「井口新田」下車徒歩1分

